
補助金等の適正化に関する具申書

令和7年12月

聖籠町補助金等評価調査委員会

目 次

はじめに1
第1 補助金等の評価方法2
1 調査手法等	
2 調査・評価の内容	
第2 補助金等の評価2
1 総論	
2 評価結果	
3 事業別評価一覧	
おわりに4
参考資料5
• 聖籠町補助金等評価調査委員会調査経過	
• 聖籠町補助金等評価調査委員会委員名簿	

はじめに

当委員会は、補助金等の適切かつ効果的な交付を図るため、聖籠町補助金等評価調査委員会条例第3条第1項第3号の規定に基づき、令和3年度に答申した補助金の評価、並びに直近令和4年度の追跡調査時に委員会が指摘し、町が示した見直し計画について、どのように反映、実行されているのか追跡調査を実施した。

具体的には、令和4年度の調査時に町が示した個々の補助事業の方針が「廃止」、「見直しのうえ継続」とした事業について、その方針に基づき着実に進められているかどうか調査を進め、評価を行った。

本具申書は、見直すべき補助金等の課題を抽出し、その方向性についてまとめたものであるが、併せて、聖籠町のこれまでの取り組みを評価することで、今後においても補助金等の適切かつ効果的な交付に向けて、積極的な取り組みの継続を期待するものである。

第1 補助金等の評価方法

令和4年度に町が示した個々の補助事業の方針が「見直しのうえ継続」、「廃止」とした事業を対象に、その見直し計画に基づき着実に進められたのかどうかについて、次のとおり、委員会による調査を実施し評価を行った。

1 調査手法等

調査は、事業所管課へのヒアリングにより実施した。

(1) 実施期間 令和7年10月17日～11月27日(全3回)

(2) 評価対象 21事業

※令和4年度の追跡調査時において、委員会の指摘を踏まえ町が「現状のまま継続」とした以外の全事業

[内訳]

・廃止とした事業 1事業

・見直しのうえ継続とした事業 20事業

2 調査・評価の内容

調査及び評価は、以下の内容を主として実施した。

(1) 町が示した見直し計画の進捗状況

(2) 現状における課題の抽出

(3) 適正な補助金等交付に向けた方向性の提案

第2 補助金等の評価

1 総論

今回の追跡調査は、令和4年度に町が示した個々の補助事業の方針が計画どおりに着実に進められているかどうかを重点的に評価した。

この評価は、令和2年度に当委員会の答申を踏まえ町が策定した「補助金等の適正化に関する基本方針」に基づくものであったが、多くの事業で前述の方針に基づいた着実な取組が確認され、委員からは更なる事業効果の向上に向けた提言など建設的な意見が出された。

一方、適正化の観点である公益性、公平性、有効性、社会情勢適合性・将来性において、その判断基準の重要な要素となる補助事業の目標設定や効果測定、改善に向けた取組などの不備、加えて町民への活動アピールなど情報開示の不足が多くの補助事業の共通課題として評価された。

また、一部ではあるが改善への取り組みが見られない事業や効果が見いだされていない事業もあり、委員からは廃止を含めた厳しい意見が出されたことも事実である。

2 評価結果

事業の方向性	事業数
現状のまま継続（計画どおり進捗している）	4
見直しのうえ継続 (計画どおり進捗していない、取組が無い、新たな指摘あり)	15
効果的手法を検討の上、継続・廃止を判断	1
廃止	1

3 事業別評価一覧

No.	補助金名	評価結果	主な意見	事業所管
1	結婚新生活支援補助金	見直しのうえ継続	客観的データに基づく効果測定(手法変更)	総合政策課
2	老人クラブ連合会等活動費補助金	見直しのうえ継続	活動ニーズの把握と助言	長寿支援課
3	集会用施設建設経費補助金	見直しのうえ継続	施設の利用状況の把握と町民への情報開示	総務課
4	小中学校相互交流派遣事業補助金	効果的手法を検討の上、継続・廃止を判断		総務課
5	保護司連絡協議会補助金	現状のまま継続		町民課
6	ごみステーション整備事業補助金	現状のまま継続		生活環境課
7	管理不全空き家除却費補助金	見直しのうえ継続	空き家等対策計画の早急な策定	生活環境課
8	地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金	見直しのうえ継続	町民への普及策と普及度等効果測定	社会教育課
9	聖籠町遊休農地対策事業補助金	見直しのうえ継続	効果測定・検証の実施と結果の周知	産業観光課
10	土地改良事業補助金	見直しのうえ継続	町民への事業周知	産業観光課
11	農産物販売促進事業助成金	見直しのうえ継続	企業感覚の向上と数値目標の設定・情報開示	産業観光課
12	担い手育成強化対策事業補助金	見直しのうえ継続	認定農業者の資質向上と町民への活動周知	産業観光課
13	団体及び組織等育成対策事業補助金(堆肥利用組合)	廃止		産業観光課
14	大豆等生産振興補助金	見直しのうえ継続	町民への事業周知	産業観光課
15	船だまり利用者協議会振興事業補助金	見直しのうえ継続	補助目的の明確化と町民への事業周知	産業観光課
16	聖籠町商工会運営事業補助金	見直しのうえ継続	町民への事業周知	産業観光課
17	聖籠町暮らし応援事業補助金	現状のまま継続		産業観光課
18	聖籠町観光協会運営事業補助金	見直しのうえ継続	評価指標と目標指標の明示など町民への積極的な情報開示	産業観光課
19	さくらんぼまつり実施事業補助金	見直しのうえ継続	評価指標と目標指標の設定	産業観光課
20	聖籠夏まつり実行委員会補助金	現状のまま継続		産業観光課
21	聖籠町サーフィン大会実行委員会補助金	見直しのうえ継続	誘致目的の明確化と成果による町民賛同・補助金依存体質の脱却	産業観光課

※詳細は、別添「補助金等事業調書」のとおり

おわりに

補助金等の適切かつ効果的な交付の継続並びに更なる改善に向けて、本委員会は令和4年度に町が示した見直し計画に基づく追跡調査を実施し、補助金等の課題及び見直しの方向性と個別の補助金等事業の評価結果を本具申書にまとめた。

今回の委員会では、補助金等評価の総論でも述べたように適正化に向けた着実な取組が確認された一方で、補助事業の共通課題として目標設定や効果測定・改善に向けた取組の不備、加えて町民への事業周知の不足など、納税者である町民に対する説明責任が疎かになってはいないか懸念される事業もあり、その結果として町民理解・賛同に繋がっていない、そう思わざるを得ない事業も見受けられた。

これらは、町がこの結果を真摯に受け止め、その解決に向けて具体的、積極的な取り組みを継続することで改善されるものと確信する。

本委員会としては、本具申が今後どう反映されるのか、抜本的な見直しを含めて、これからもその行方を追跡し、調査を行っていきたい。

終わりに、聖籠町が行財政改革のもと今後も引き続き、補助金等の適切かつ効果的な交付に向けて、外部評価に加え、町としても、事業の効果検証とその評価による見直しを不斷に実施することで、限りある財源の有効活用、事業効果の最大化が図られ、聖籠町が掲げるまちづくりの基本理念「生まれて良かった 住んで良かった聖籠町」の実現に繋がることを大いに期待するものである。

参考資料

■委員会による調査経過

本委員会は、令和4年度に町が示した補助金等の見直し計画について、次のとおり
計3回にわたり追跡調査を実施し、評価を行った。

	開催日	内容
第1回	令和7年10月17日	第1回補助金等評価調査委員会 ・委員長及び副委員長選出 ・会議の公開について ・補助金等ヒアリング調査(5事業) ・今後のスケジュールについて
第2回	令和7年11月13日	第2回補助金等評価調査委員会 ・補助金等ヒアリング調査(9事業) ・補助金等評価調査の様式確認
第3回	令和7年11月27日	第3回補助金等評価調査委員会 ・補助金等ヒアリング調査(7事業) ・ヒアリング済事業の意見集約(14事業)

※残るヒアリング済事業の意見集約(7事業)は文書送付による書面会議を実施。

委員名簿

任期 令和7年10月17日～令和10年10月16日

(氏名、選出区分、役職)

No.	氏名	選出区分	役職
1	宍戸 邦久	1号委員(学識経験者)	委員長
2	佐野 なみこ	2号委員(一般町民)	副委員長
3	島村 優里	2号委員(一般町民)	
4	鈴木 亘	2号委員(一般町民)	
5	丹後 辰徳	2号委員(一般町民) ※公募	
6	横山 恵美	2号委員(一般町民)	